

生野区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第9号

平成29年6月発行

減らそうごみ・守ろう環境学習の取組みを地域で実践 廃棄物減量等推進員が体験学習を見学



武田副会長, 松下・米川両推進員, 草薙会長 (左から)

平成29年6月6日(火)の2・3時間目にわたり生野区舍利寺小学校に於いて小学4年生を対象に体験学習を開催しました。

この体験学習には、初めての試みとして舍利寺校区でごみ減量と環境問題に取り組んでいるごみゼロリーダーの米川推進員並びに松下推進員、学校区の連合地域からは草薙会長・武田副会長に参加頂きました。

見学者を代表して、草薙会長が「舍利寺小学校の皆さんと地域が一緒になって環境問題に取り組みましょう」と挨拶されました。

2時間目の授業では、収集車両の色や構造の種類、収集時のオルゴールに関する説明と資源ごみの積込体験、パッカー車への乗車体験をおこないました。

3時間目は、地球環境問題・3Rによるごみ減量・ごみの分別についての説明、また近年、全国的に問題となっている食品ロスについての話を児童たちも真剣に聞いていました。



熱心に聞き入る推進員の方々(3時間目授業風景)

またスプレー缶に穴を開ける際の事故が全国的に多発していることを受け、大阪市で4月24日からスプレー缶は、中身を使いきった後、穴を開けずに、資源ごみとして、他の資源ごみとは別の袋に入れて排出する方法に変更したことも説明。見学された方々からは「学年に合わせたわかりやすく楽しい説明で、児童たちもよく理解していたと感じた」、「ごみの分別方法の細かい点もよくわかった」などの声を頂きました。

普通ごみの収集時に聞こえる曲は何か？？



積み込み操作の説明に興味深々な児童たち



リサイクルの流れや再生品の説明を聞く児童たち



○×クイズでは児童全員が全問正解！！

体験学習では、パッカー車の色は燃料による違いや積み込み装置には2種類あること、収集する品目毎にオルゴール曲を使い分けていることを説明しています。

特に普通ごみの収集時に聞こえるオルゴールは、1964年に「大阪市緑化100年運動」を記念して島倉千代子さんが歌われた小鳥が来る街」の曲を、昭和41年から普通ごみの収集時に使用していることを説明しましたが島倉千代子さんといっても小学4年生には誰だかわからないようでした。

他にも「赤とんぼ」は資源ごみ、「草競馬」は容器包装プラスチック、「シャボン玉」は古紙・衣類の収集の時に流す曲となっています。

3きり運動で食品ロスを考える

日本で1年間に廃棄される「食品ロス」は年間で約642万トンとも言われており、国民一人当たりの食品ロス量は約138グラム、カロリーベースでは1人が毎日おにぎりを2個捨てている計算になることを説明すると児童たちからは驚きの声。

一人ひとりが家庭でできることとして家では食材を使いきり、作った料理は食べきり、ごみとして捨てる時はしっかり水きりをする「3きり運動」に取り組んでもらうよう話すと児童たちも真剣に聞いていました。

小学4年生にとって体験学習は、誰もが毎日普段の生活で必ず出している「ごみ」と環境問題について学ぶ機会なのです。

《編集・発行》

大阪市東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL:06-6751-5311 FAX:06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

